



# epoch

エポック No121

～千代田区生涯学習推進委員会議だより～

令和4(2022)年2月 発行



## 第13期第7回 概要報告

12月10日、第7回千代田区生涯学習推進委員会議が開催されました。今期テーマのまとめ、報告書作成に向けた振り返り、調査について確認と意見交換が行われました。ちよだ生涯学習カレッジからはトライアルコース報告および来期募集について報告がありました。以下、概要をお伝えいたします。

### I 今期のテーマについて

#### 「コロナ禍の生涯学習推進におけるICTの活用と支援の可能性」

第13期報告書作成にあたり、第5回会議で実証的な調査（質的調査・インタビュー）が提案されました。前田副会長より調査概要、方法、対象者について説明のあと、意見交換を行い内容が決定しました。

インタビューの目的: コロナ禍・ICT活用推進など現在置かれている社会的状況に対し、人々がどう適応しようとしているのかを聞き取り、効果的な支援を探る。

インタビュアー: 及川委員をはじめとするちよだ生涯学習カレッジ卒業生等。

インタビュー対象者: 年代・地域・活動分野のバリエーション、バランスをとりながら千代田在住・在勤・在学者10名程。

形式・方法: 対面またはオンラインによる半構造化インタビュー（用意した質問を基に自由な語りを中心に行う）

注意点: 個人情報保護、プライバシーへの配慮。

### 【意見交換の主な内容】

#### インタビューについて

○インタビュー対象者の設定理由とともにどのような枠組みで行うかを明確にする必要がある。年代のバランス、区民、在勤者、1つの町会に限らない地域のバリエーションをもたせたい。

○コロナ禍ではZoomインタビューを行いたいところだがZoomが可能な方だけでは対象が限定され、バイアスがかかる。ICT初心者などに対する対面形式は必要となる。

○デジタルに精通していない方にも聞きたい内容がある。

○文化活動を続けている方たちは、コロナ禍で何が必要となったのか。その経緯と発展させた方法も聞きたい。



- ICT 活用支援を‘支える人の支援’が必要。ちよカレ卒業生がコーディネーターのようなスキルアップ専門、養成プログラムがあるとよいのでは。ちよカレのみでなく、既にスキルを持つ社会人が受講しやすい工夫により、将来活用支援に回れないか。
- 学びから疎外されている高齢者や障がい者がどこに学ぶ機会があるのかを考えたとき、社会教育・生涯学習が向き合っていないといけない。ちよカレなどで活用支援員を位置づけ、養成する方向を考える必要がある。行政サービスの一環としてできるのか、今後の課題である。
- 行政サービスとしてどのような支援の仕組みを作り提供するかを第一義的に考える必要がある。学びを皆で支える、醸成は時間がかかる。大学生ボランティアも含めて支援側には付加価値も求められる。支援される側と支援する側のギャップがある。

- 日曜青年教室においても ICT の学びがあるが、活用を通じた社会とのつながりやメリットを教えてあげてはどうか。
- 新たな生涯学習の取組の一つとして、高齢者と子どもでオンラインの体操教室を行ったり、シルバー人材センターの方たちの協力をいただいてはどうか。
- 都と千代田区で開催した高齢者スマホ教室に行ったが、スマホを持ち、関心のある人が来ていた。スマホを持たない、関心のない人をどう呼び込むのか難しい。
- ボランティアの学生は、地域課題解決に役立ちたい、得意分野で活動したいと思っている。その活動が ICT 活用支援など生涯学習推進に役立っていることを伝えたい。
- 大学生のネットワークや協力を期待したいが、テーマと目的をはっきりさせ、散発的でない組織的な推進と公的サポートを行うことを明言すべきではないか。

## Ⅱ その他



### ちよだ生涯学習カレッジ報告

#### ① トライアルコース進捗状況報告

開講：10月2日（土）～12月18日（土）

参加者：20名

- ◆第3回（10月20日）「まちをデザインする3つのポイント」
- ◆第4回（11月17日）「日本酒と神田をつなげて魅力をつくる」
- ◆第5回（11月24日）「遊び×子育て×コミュニティ」
- ◆第6回（12月8日）「つながりの多様性」

各回の様子とともに参加者の学びのフィードバックが報告されました。

#### ② 第6期募集について

◇期間：2022年4月～2023年2月。月2回程度（水曜日19時～21時）※授業により変更有

◇対象：千代田区内在住・在勤・在学 ◇定員30名 ◇授業料：1万円

◇コース：地域デザインコース

◇カリキュラム

- 【A】大人の学びと関係づくり
- 【B】実践者と出会う
- 【C】千代田区を知る
- 【D】ちよカレ生からのバトン

今期の特長として「【D】ちよカレ生からのバトン」、卒業生が主体的に企画する等身大の授業です。卒業後のそれぞれの取り組みやコミュニティを紹介。専門性や得意分野を生かした授業を在校生へ届けます。

◇募集スケジュール：2月5日募集開始





### ③ 企画運営委員会の設置

- 目的：①ちよカレ卒業生から在校生へ、より充実した授業を提供。  
 ②ちよカレの活性化と学年間の相互連携、協力を深める。  
 ③卒業生の活躍の場を創出。

役割：「【D】ちよカレ生からのバトン」企画募集、3つの企画を採用・実施・報告

### 【意見交換の主な内容】

- ちよカレ卒業生5期100名の中で、文化、ICT支援、まちづくり、防災など、グループ化してバックアップの形を取れるものが形作れないだろうか。ちよカレを活用できるシステムを作っていたきたい。
- 九段生涯学習館には人材バンク登録があり、ちよカレ卒業生にも任意で登録いただいている。来年度は整理し、教えてほしいこと、提供できることをジャンル分けし周知しやすい形に編成しなおしたい。



#### ～編集後記～

第13期生涯学習推進委員会議はコロナ禍の影響で令和2年12月から開始し、第3、4、5波の感染状況をとめないながら1年が経過しました。生涯学習講座やサークル活動、学校の授業もオンラインが進められ、体験学習や対面での学びが減少したなか、コロナ禍、コロナ後にもつながる学びの支援として千代田区の社会教育・生涯学習はどうあるとよいのか、議論を重ねてまいりました。

報告書作成に向けたインタビュー調査が年末にかけて行われ、この調査には及川委員を中心としたインタビューする側、受ける側、と多くの方がたのご協力をいただくこととなりました。感謝申し上げます。次回、第8回会議は、2月10日（木）に行われます。

#### 【編集／発行】

千代田区 地域振興部 生涯学習・スポーツ課 〒102-8688 千代田区九段南1-2-1  
 TEL 03(5211)3632 FAX 03(3264)1466  
 E-mail shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp

